



青少年海外派遣事業の成果を報告

「第24回青少年海外派遣事業」の報告会を1月18日、内子自治センターで開きました。派遣生10人は「ドイツの食文化」や「教育について」など、6つのグループに分かれて研修の成果や感想を発表しました。その一部を紹介します。

《ドイツのおまじないの言葉》

日本では子どもがけがをしたとき、「痛い痛い飛んでいけ」と言いますが、ドイツでは「Bis du heiratest, ist alles wieder verheilt.」(結婚までは治りました)と言うそうです。過去形になっていることが不思議で、その理由をホストファミリーに聞くと、「結婚するまでもう痛くなることはない」と断定する意味で過去形になっているそうです。日本にはない考えがとても面白く感じました。

《ローテンブルク市の町並み保存》

内子町の町並みで保存されている伝統的建造物

は93件ですが、ローテンブルク市は城壁内が全て保存区域になっていて、倉庫などを合わせると1,200件もあるそうです。

両市町の共通の課題は保存地区内の人口減少や空き家の増加です。景観を守り続けていくことは大変ですが、どちらも特有の景色が広がるすてきな町です。今回学んだことを生かし、僕たちができることを考えていきたいです。



ローテンブルク市内の町並みを見渡す派遣生たち

内子町駅伝競走大会に参加しました

内子町国際交流協会は今年も「内子町駅伝競走大会」に参加しました。「たすきをつなぐ」というチーム目標に向かって、各自で練習を重ねて本番に臨みました。全力で22.4キロを駆け、一般2部で14位という好成績を収めることができました。

当協会の応援団も選手の力になるように、全区間ポンポンを持って、沿道から声援を送りました。応援団として参加したALTのサマンサさんは「マラソンや5キロ走はアメリカでも人気だけど、駅伝を見たのは初めて。みんなで協力し合って走る姿がすてきだった。応援できて楽しかった」と感想を話しました。

当協会のチームで走ってくれた選手の皆さん、応援してくれた皆さん、ありがとうございました。



1_ゴールの後、応援団と一緒に 2_大きな声援で選手にエールを送る 3_ たすきを手に、ラストスパート

●利用者カードと読書記録帳の保管方法に注意
利用者カードと読書記録帳は、保管方法を間違えると使えなくなる場合があります。次のことに注意してください。
・携帯電話など、強い磁気を発するものと一緒に保管しない
・車のダッシュボードなど高温になる場所、直射日光や蛍光灯が当たる場所に置かない
・折り曲げたり、汚したり、書き込みをしたりしない

おはなし会
土曜日・午後2時～
2月2日 ゆりかご
9日 むしこまど
16日 むしこまど
23日 どんぐり会

文学講座
2月16日(土) 午前10時～
内容 自由に読む「源氏物語」
講師 村山洋子さん



ボールペン画の作品を展示

図書館 へ 行こう

内子町図書情報館
〒791-3301
内子町内子3427番地
☎ 0893(44)4198
☞ http://www.town.uchiko.ehime.jp/library/
開館時間：
午前9時30分～午後6時
休館日：月曜日・月末整理日

新着図書紹介

その他の新着情報はホームページをご覧ください。

♣一般図書



されど私の可愛い檸檬
舞城王太郎／著
やりたい仕事ははっきりしている。だけどなぜかうまくできない。だって選ぶのって苦しいじゃないか……。『家族』の愛、不条理などを描いた作品集



空に向かってかっ飛ばせ！
筒香嘉智／著
野球をする子どもたちの数は激しい勢いで減っている。日本の4番打者筒香嘉智がその現状を変えるために、自らの経験に基づき提言する



100歳まで元気！おいしく健康300レシピ
岩崎啓子／著
手作りごはん、体の不調を予防・改善。簡単でおいしいと定評があるプロのレシピを、「血管を鍛える」「筋力アップ」などジャンル別に紹介

♥児童図書



工場長のひみつのおひるね
みずのよしえ／作
小高い場所にある、風つくり工場。そこで働く小さな黒猫のノロ口は昼寝が大好き。実は、工場長もこっそり昼寝をしているみたいで……



太陽ときみの声 明日の、もっと未来へ
川端裕人／作
高校卒業を前に、一輝は進路で悩んでいた。ブラインドサッカーは楽しいけれど、将来の仕事には直結しない。受験前最後の試合に臨むが……



ぼくは フクロウ
フィリップ・バンティング／作
枝に止まっているフクロウが、キュートなフクロウや珍しいフクロウに変身していき……。フクロウの絵と言葉遊びが楽しい絵本